

株式会社アーバンデリバリー

生産性向上によるサンプル縫製事業への特化

感性と技術力で有名ブランド品縫製に実績あり 自動裁断機CAM導入でサンプル縫製事業へ特化

事業の背景・目的

当社は、婦人服の縫製、製造の株式会社アーバンルックを親会社とし、縫製事業・プレス事業を請け負っている。以前から縫製事業をもっと強化し、ものをつくる部分で展示会に出展するなど、自社独自で挑戦し

ていきたいとの思いがあった。また、受注につなげるにはサンプル作りが必須になるため、サンプル作りに特化した取り組みをするために、設備投資による事業計画を申請した。

事業内容

アパレル各社が顧客を獲得するために展示会の回数を増加させることを背景に、サンプル縫製事業が拡大していくことは確実である。現在、当社では14人体制で縫製事業に携わっているが、サンプル製造のための裁断を手作業で行っていたため、時間がかかり、効率改善が課題であった。そのため、今回の事業で自動裁断機CAMの設備投資を行った。

自動裁断機投入により、これまで多くの人員を必要としていた裁断業務を他の縫製業務にあたらせることで時間短縮が可能になり、また、正確な裁断が可能になる。

縫製事業部・プレス事業部・洗い事業部のすべてを備えている当社の強みを活かし、サンプル縫製事業への特化を目指し、工程自動化などにより、生産性を向上する。



有名ブランド品のサンプル縫製。



従来手作業で多くの人手を必要としていたが、現在は一人のスタッフで断裁作業を担当。

事業の成果

設備導入後は、生産効率に確実に成果があらわれている。自動裁断機は、縫製を行っているアパレル業界内でもまだ一部しか導入していないと思われる。当社の強みをフルに活用していくことで、納期短縮・品質・生産性向上などで他社との差別化が

図れた。設備導入の目的である、サンプル縫製事業への特化へ向けて、展示会向けのサンプルの製造に取り組んでいく。課題としては、自動裁断機をさらに活用していけるよう、操作技術の向上に努めていく。



自動裁断機CAM導入で納期短縮・生産性向上。

今後の展望

直近では、来年度の春夏（SS）向けのサンプル縫製に取り組み、受注に向けて本格的に稼働させる。

縫製事業部・プレス事業部・洗い事業部のすべてを備えている当社

の強みを活かし、サンプル縫製事業への特化を目指し、その後も年2回の展示会、秋冬（AW）と次の春夏（SS）と社内体制を整えて受注拡大を図っていく。

DATA

株式会社
アーバンデリバリー

縫製事業／
スカート・パンツを主体にボトム中心に付加価値の高い小ロット商品を受注
プレス事業／
株式会社アーバンルックの縫製品の仕上げプレス事業。月産15,000着前後の婦人服化粧仕上げから製品洗いまで行う県内随一のプレス事業部



代表取締役
武田 善明

住 所
酒田市東町1-25-1

電 話
0234-26-8833

FAX
0234-26-8834

e-mail
urban-takeda@amail.plala.or.jp

設立年
平成3年1月

資本金
1,000万円

従業員
28名